

第1号議案

平成22年度 事業報告書

1 事業の成果

温室効果ガスの排出を大幅に削減するための革新的な技術開発と省エネルギー技術、生成可能エネルギー・新エネルギー技術の創出を目指し、低炭素社会の実現を図る観点から、本年度は環境エネルギー関連技術に関して、東北大学の技術シーズ及び国や地方公共団体、産業界の技術ロードマップの調査を行った。講演会やシンポジウム等を介して、普及・啓発活動を積極的に展開した。

また、低炭素社会の実現には、多くの課題があり、特に、革新的な環境エネルギー技術開発の推進が緊急課題であり、そのための環境エネルギー技術に関する若手研究者・技術者の育成に必要な研究助成や奨学助成活動を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
環境エネルギー技術に関する調査研究事業	東北経済産業局委託事業「半導体プロセスによる医療デバイス製造に係る技術課題に関する調査業務」を実施した。	22.11.4 ～23.2.28	バイオチップを製造する 主な国内企業・研究機関 (東京、茨城、大阪等)	3人	医療関連分野	619
環境エネルギー技術の普及・啓発事業	機関誌創刊号発行 “SFTEE News”創刊号	22.5.16	公共団体広報窓口及びイベント会場等での配布並びに環境関連企業等への郵送	3人	会員及び県内公共団体、県内外環境関連企業、一般市民等 発行部数 1,000部	100
	特別講演会 「第22回環境フォーラム」	22.5.28	東北大学環境科学研究科	5人	会員及び東北大学 研究者・学生 参加者数：約60人	44
	第4回SFTEEセミナー “太陽光とエネルギー” 「太陽電池、Liイオン電池、直流給電の最新動向を探る」	22.10.21	東京都 東北大学分室	4人	会員及び国内企業・ 個人の研究者、技術者 参加者数：46人	253
	自然エネルギーをテーマとした市民参加型・体験型イベントの「みんなで灯そうエコページェント」を実施し、地球環境問題を克服するための低炭素社会の構築に向けての普及・啓発を行った。	22.12.21 ～25	仙台市青葉区勾当台公園	5人	一般市民 参加者数：約3,000人	411
環境エネルギー技術に関する人材育成事業	若手研究者の革新的な技術開発に対し、研究助成と奨学助成を行う。 本年度は第2回受賞者の選考を行った。	授賞式 (23.5.27)	東北大学環境科学研究科	3人	若手研究者1人 大学院生1人	0